

# 令和5年度 1学年 総合的な探究の時間 ～「少子化を考える」における保育所体験～

\* 12/5(火) 1～4校時

## \* 1組：うぐいすこども園



## \* 2・3組：愛保育園



● 12月5日(火)、総合的な探究の時間の授業の一環として、1学年の全生徒で常陸太田市のうぐいすこども園、愛保育園へ訪問しました。

園児たちとの触れ合いを通して、少子化について考える契機とすることが今回の体験学習の目的でした。活動が始まったばかりのときは少し戸惑っている様子もありましたが、各保育所において園児たちや保育士の方々が温かく迎えてくださったため、次第に慣れていき、活動を終える際には、名残惜しそうに園を後にする姿が多くみられました。

●以下、生徒たちの感想を少しだけご紹介します ※それぞれ抜粋・中略等をしています

- ・将来保育士になりたいと思っているので、今回の体験を楽しみにしていました。最初は不安でしたが、次第に距離が縮まり、子どもたちとも仲良くなることができました。これからは夢に一步でも近づけるよう努力しようと思います。
- ・改めて、少子化が進んでいるということを考えさせられました。普段小さな子供たちと触れ合う機会がないのでとても新鮮な気持ちで参加することができました。
- ・子どもたちの命を預かる大切さを学びました。保育士という仕事の大変さも知ることができました。この体験をこれからの生活に活かしていきたいです。
- ・今回の体験を通して、子どもを持つことの大変さと同時に素晴らしさを学ぶことができました。時間を忘れるくらい楽しく活動できました。



～ここでは紹介しきれないくらい、生徒たちは今回の体験を通して多くのことを考え、多くの実りを得ることができたようです。このような貴重な経験をさせていただいたうぐいすこども園及び愛保育園のみなさまに改めて厚く御礼申し上げます～